

隣近所に迷惑を かけていませんか

身近な騒音・悪臭を防ごう

最近、騒音や悪臭に対する苦情が増えています。
ステレオ、テレビ、ピアノやカラオケの大きな音、
庭先でのごみ焼却による煙や悪臭など。これらは、
ちょっとした注意や心づかいで防ぐことができます。
お互いに十分注意して、住みよい環境づくりに努
めましょう。

● 近所のステレオの音がうるさい。
ドラム缶の煙で息苦しい、何とかしてほしい—など。こんな苦情が増えています。そこで、市公害課に寄せられた事例の一部とその対応を紹介します。

一事例1— 昼間でも雨戸を

近所の住宅で昼間、窓を開け、ステレオを大きな音でかけているため、非常に騒がしく、子どもを昼寝させるときは、雨戸をしめなければならない。

周辺の住宅でも非常に迷惑を受けているので、何とか指導してほしい。

〔公害課の指導〕

ボリュームを下げるか、部屋に防音装置をするように指導。

一事例2— ドラム缶の煙が

近所の家では、家庭から出たごみ

を庭先にあるドラム缶で焼却しており、その煙で、のどが臭苦しくなる程であり臭気もひどい。

また、ドラム缶は、道路端にあり、子どもの通学路となっているため、ヤケドを負った子どももいる。

何度も注意したが、止めてもらえないので指導してほしい。

〔公害課の指導〕

ドラム缶等による焼却は、悪臭、ばい煙が発生し易いため燃やす場合は、ビニール、プラスチック等を除き、場所、風向を配慮して、近所に迷惑をかけないように指導した。

カラオケ騒音に注意を

スナックをはじめとする飲食店営業にともなう深夜騒音（カラオケ、人声、車の出入り等）が社会問題となっています。

身近な騒音公害をなくすために、



飲食店の自主的なご協力をお願いします。

騒音公害をなくすには

あらかじめ防音対策をすることが効果的です。騒音の苦情が出てから対策をたてるのは、余分な費用や時間がかかり感情的なこじれなどで解決も非常に難しくなります。

室内の壁や天井の改善による防音対策は最も大切ですが、音響機器(特にカラオケ、ジュークボックス)やクーラー、換気扇等の使用時間、取付方法、音量にも十分注意するなど細かい配慮が必要です。

グループ訪問 ⑤7



映画の感想文集を作る会のメンバー

「テレビの普及による映画はなれ、映画の質の低下やもうけ主義の製作などで映画界は停滞しており、市内でも映画館は減少し、上映される映画も少なくなりました。」と事務局長の佐野雄一さん(26歳)。映画は見る人に人生を考えさせてくれたり、楽しみや喜びを与え心を豊かにしてくれる。よい映画を上映しよう。そんな共通の気持ちで結ばれた映画好きの人たちのサークル。これまでに手がけた映画は六本。先頃の「子供のころ戦争があった」は千三百人が観賞した。その時の感想文集作りがすすめられている。



プロフィール

昭和56年1月設立。全国200余のセンターのひとつとして市内での自主上映活動を行っている。只今、会員募集中。映画好きの人は特に歓迎。連絡先 ☎51-0123(内線207) 富士市内